

2009年3月29日

- [ルート] しるし平駐車場→鳩岳→石倉展望台→しるし平駐車場
 [参加者名] T.TSUSHIMA 他4名
 [コースタイム] しるし平駐車場 9:35 → 赤コース・緑コース分岐 9:40～9:50→ 亀岩 10:08～10:13→
 鳩岳への分岐 10:19→ 鳩岳山頂 10:47～11:13→ 鳩岳への分岐 11:32→
 車道に出る 11:48→ つつじの森キャンプ場 12:14→ 石倉展望台 12:32～13:13→
 しるし平駐車場 13:49

[登山口までのアプローチ、登山口の様子]

登山口・駐車場は階上岳と同じ。階上町鳥屋部の『フォレストピア階上』に駐車場があり、そこから450mほど先に登山口の標識がある。又、そのまま車で5分ほど進むと『しるし平駐車場』があり、40分ほど歩行時間が短縮できる。どちらの駐車場にもトイレ有り。『しるし平駐車場』には新しく立派な東屋もある。

[山行記録]

天気晴れ。土日祝日に利用できる『小さな旅ホリデー・パス』(一日 2000 円)を使い、7:10 青森発の電車で八戸に向かう。八戸着 8:39。駅で八戸在住の友人と合流し、車で登山口に向かった。鳩岳の他に展望の良い石倉にも回りたいということで、『しるし平駐車場』まで車で行くことにした。9:20 着。下のフォレストピア階上駐車場には+数台車が止まっていて、階上岳に登るらしい登山者が2・3組歩いていたが、しるし平駐車場には車は一台もいなかった。

9:35 駐車場を出発。登山口の東屋に『階上岳の登山道山頂まで赤コース 2680m、緑コース 2920m』の表示があった。車道には雪がなかったが、登山道は数日前に降った雲に覆われていて足元が定まらず、とても歩きにくい。歩き始めて5分もすると緑コースと赤コースの分岐点があった。右の赤コース矢印の方に進み4・5分行くと、大山津見神社(つくし森)の少し手前で赤コースは左(南東方向)に曲がる。鳩岳に行くにはそこを曲がらずにまっすぐ(南西方向)に進む。大山津見神社の鳥居の前を通過して小さな沢を渡り、ひと上りすると亀岩という大きな岩がある。弾んだ息を整えてから少し進んだ先の平坦な所に鳩岳への分岐があった。林の中で分かりにくいですが、よく見ると曲がり角の木に目印の赤テープがつけてある。

分岐を右に折れて西方向に進む。夏道も整備しているようで雪の下に所々赤い杭が見えた。やがて腰くらいの高さの笹藪になったがかき分けて進み、いったん鞍部まで下ってはいよいよ鳩岳の上りになる。東側から巻くようにして上っていくと大きな岩があり、視界が開けて八戸市街地や太平洋・階上岳が見渡せた。そこからはあと5分も上ると頂上だ。10:47 着。分岐から 30 分足らずで着いたことになる。林の中にある山頂は岩と枝に結びつけた『鳩岳』のプレートがあるだけで展望はない。見晴らしの良い大岩のところまで戻ってお茶にした。

休憩後、次の目的地、階上岳放牧場近くの石倉に向かう。まず分岐まで戻って右に曲がり少し下ると、田代口からの階上岳西登山道に行き当たった。西登山道を階上岳方向に進んで 10 分ほど行くと車道に出る。階上岳に登るには車道を横切って又登山道に入るのだが、私達は左に曲がって大びらき方向に車道を歩いていった。途中、さっき登ってきた鳩岳や名久井岳、遠くには見慣れた形とはまるで違う姿の八甲田



鳩岳 石倉展望台より

の山々も望む事ができた。つつじの森キャンプ湯前を通り『階上岳町営放牧場』の看板から右に入って石倉展望台へ。ここにも大きな岩があり、眺めは抜群。ゆっくり昼食を楽しんだ。帰りは雪の上をショートカットして下り、車道に出てしるし平駐車場に戻った。13:49 着。八戸駅まで送ってもらい、15:29 発の電車に乗って 17:13 予定通りに青森に着いた。今回は鳩岳～石倉を歩いたが、鳩岳と階上岳をセットにしても良いと思う。又、フクジュソウやツツジの季節に訪れるのも楽しいのではないかな。

報告 T.TSUSHIMA

2008年12月14日

- [参加者名] CL M.KIKUCHI 他8名
 [コースタイム] 合浦公園 6:30 → 西鳥谷部十文字駐車場 8:55 → 9:20 登山口
 9:25 → 大山津見神社・つくし森 10:10 ~ 10:20 → 西コース 11:15 →
 南岳分岐 12:00 → 階上岳 12:10 → 大開小屋 12:30 ~ 13:05
 しるし平 13:30 → 登山口 14:00 → 西鳥谷部駐車場 14:05 ~ 14:20
 → 合浦 17:15

[山行記録]

みちのく有料道路を南下し、十和田市より国道45号線八戸へ。COOP 類家店前の県道221号線で鳥谷部十文字駐車場着く。T.Yさんと合流する。うす曇で風は全くないが前日の雪解けが凍りついて足元が滑る。他パーティー12人も身支度をしている。滑滑の車道を歩くこと5分登山口。杉林の中を緩やかに勾配を上げていくと車道の下階段になっているトンネルをくぐりぬける。せせらぎコースを登る。積雪10センチ程だが靴底のスッパツの紐にくっついて高げたを履いているようで歩きづらい。枯葉の上の雪が滑って難儀する。分岐で衣服調整休憩だ。10:00 急登をやっと登ると前が開けて下の方に八戸市街地と工業地の煙がたなびくのが見える。日も射してきた。一息つくのもつかの間今度は勾配はかなりきつく足を逆ハの字に開いて滑らないように登る。汗ばんだところでつくし森に着く。今来たコースはつくし森裏参道コースです。日がさし無風状態だ。立派な神社があった大山津見神社で集合写真を撮って急登を転がるようにせせらぎまで降りると、大山津見神社にいたグループが「自分達は別コースに行くのでついてこないように」と言って追い越して行った。下った分急登を登ると10:25 亀石に着く。10分程歩くと西登山田代口の分岐へ。そこを左手へさらに10分歩くと頂上まで2.5キロの標識あり。5分程で車道へ出た。車道を横切り西コースを登るとあたりは若木のように細い幹に丈も2メートル程の低木で見晴らしがいい。下の方に八戸市街地を右に左にと見、蛇行して登る。積雪25センチはあるだろうか、11:40分分岐に頂上1キロの標識。左に少し行き右の林の中を歩くと盛り土がある。県境に似た盛り土を右手に前進すると尾根に出た。現在地を地図と目で右と左に分かれて確認する。南岳分岐で右側は南岳、左側は階上岳であることを確認し時間が遅れていることもあり南岳は取り止めることにし階上岳に向かう。水場の竜神水を横目で見12:10頂上に着く。見晴らし良い。12:15写真を撮って足元も軽やかに大開小屋に12:30着。中では薪ストーブがあり10人程昼食をとっていたがまもなく身支度をして出て行った。板の間では若夫婦らしき2人が手作り弁当をほうばっている。この光景にちょっぴり心が和まされる。13:05小屋を出発。みどりコースを下山。林の中の急登を転がるように降りるとそこは「しるし平の東屋」だった。13:30旧道を少し行き再び登山道に入る。天気もよく雪が溶けはじめている。せせらぎ分岐に。ここでS.Nさんがボールペンを拾う「僕のペンですああよかったこんな幸運な事もあるんですね」と言ったのはK.Hさん。精を切らして登った坂道を小走りのように降り車道トンネルをくぐって14:00登山口に。駐車場でT.Yさんと別れ14:20帰路に着く。

[感じた事] 40分~50分位で休憩をとるようにし、水捕食をとりましょう。コースがいくつもあるような場合は、分岐があるその都度標識と地図やコンパスをつかって確認し現在地を知る。人に頼り切って人任せ的な自分を反省しています。

報告 N.SUWA

